

議会だより

住みやすい町づくりを目指して <https://www.town.manno.lg.jp/chosei/gikai/>



仲南こども園

Contents

住民の皆様へ	
新型コロナウイルス感染症対策	2
第3次独自事業決定	3
第2回臨時会・9月定例会	4
委員会報告	11
9人が町の考えを問う 一般質問	14
議会からこんにちは 公民館の紹介	20



まんテンちゃん

住民の皆様へ

日頃より町議会の活動に、ご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて、県下でも依然として、新型コロナウイルスの罹患者が発生しておりますが、8月に町議会議員のコロナ感染が確認されたことから、議会運営委員会並びに全員協議会を開き、議会としてのコロナ感染予防対策等の申し合わせを決定したところです。

また、当該議員が自宅療養期間を経て、9月の全員協議会に出席したため、今回の一連の経緯について詳細な報告を求め、県外移動は遊興目的ではなかったことや、住民の皆様、事業者の皆様をはじめ関係者の皆様に多大なご心配とご迷惑をおかけし、大変反省をしている旨の報告がありました。

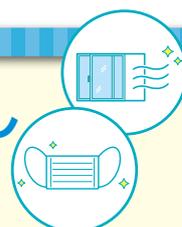
全国的に感染拡大が続くなか、罹患者の方々の一日も早い回復と、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、最前線で国民の健康福祉に貢献してくださっている医療関係者の方々に心より敬意を表するとともに、不安な日々を過ごされている皆様方のためにも、一日も早い事態の収束を心よりお祈り申し上げ、報告とさせていただきます。

令和2年9月15日

まんのう町議会議員 大西 樹



まんのう町議会は新たな予防対策を実施し 新型コロナウイルス感染予防も継続しています



- 1 議場、委員会室に大型空気清浄機を3台、設置しました
脱臭、集じん、浄化を兼ね備えた高濃度『プラズマクラスター』ウイルス抑制技術を搭載した清浄機です
- 2 議会事務局前に指先・手の消毒薬、消毒ジェルを設けました
- 3 議場、委員会室でのフェイスシールド、マスク着用を必須
- 4 非接触型体温計にて毎回、体温測定メディカルチェック
- 5 長時間にわたる密閉空間での会議を避け進行短縮し休憩
- 6 住民の皆様への傍聴自粛の呼びかけ

まんのう町独自 第3次対策を

決定

国からの地方創生臨時交付金(約3億7千万円)の用途について、2回の全員協議会(7月30日、8月20日)を開催し、議会の意見(要望)を施策に反映させました。以下は、主な対策。今後もスピード感を持って適切な対策を求めています。

今回の 重点施策

町独自の持続化応援給付金

事業者 **30万円** 予算額 **1億2155万円**

前年の事業収入(売上)が100万円以上あり、前年同月比で20%以上、かつ5万円以上の減少がある中小企業等、個人事業者(農林漁業者を含む)に対し30万円を支給。国の持続化給付金を受けた者で、支給額が30万円に満たない場合は、国の給付金と同額とする。

詳しくは **地域振興課**

6小学校体育館に LPガス方式の空調設備導入

予算額 **3億4100万円**

近年、35℃を超える猛暑が続き、小学生の熱中症予防と大災害時の避難所となる体育館の生活環境向上を図る。また、電気よりも設置費用で約6,600万円、維持費で年間230万円余り削減でき、非常時の発電設備を有する。

詳しくは **総務課**

子育て応援給付金

1人 **3万円** 予算額 **8800万円**

令和2年10月1日現在、町内に住所があり、平成14年4月2日以降に生まれた子ども一人につき3万円を保護者等に支給。

詳しくは **福祉保険課**

心身障害者福祉年金 特別給付金

1人 **2万円** 予算額 **2550万円**

令和2年10月1日現在、町内に住所があり、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を持っている方一人につき2万円を支給。

詳しくは **福祉保険課**

出産祝臨時給付金

1人 **10万円** 予算額 **1110万円**

令和2年4月28日から令和3年4月1日までに生まれた子ども一人につき10万円を保護者等に支給。ただし、他の市町村で同様の給付を受けていない方。

詳しくは **福祉保険課**

令和2年9月定例会

開催期間 9月15日～10月5日(21日間)

令和2年度町一般会計補正予算案、地域木材利用促進条例の一部改正など9議案の審査を行い、原案通り可決した。また、令和元年度町一般会計及び6つの特別会計の歳入歳出決算の審議を行い、認定した。人権擁護委員の推薦に同意した。

令和2年第2回臨時会

開催期間 8月3日

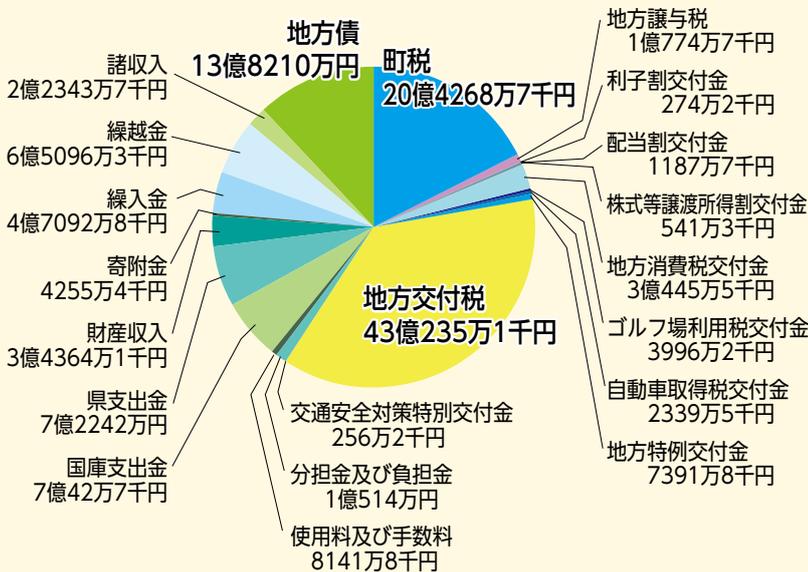
工事請負契約締結の審議を行い、原案通り可決した。(令和2年度まんのう町2施設カーボン・マネジメント強化事業改良更新工事)

令和元年度一般会計歳入歳出決算

関連記事は6頁

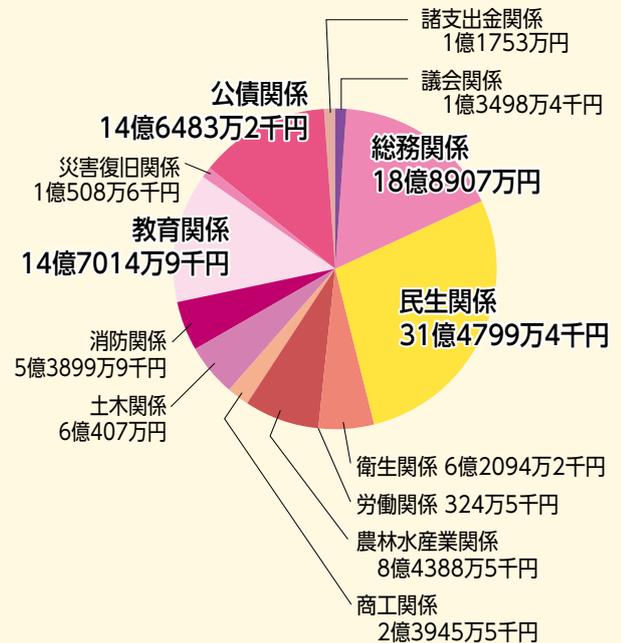
歳入総額
11,640,137 千円

入ってきた
お金



歳出総額
11,180,241 千円

使いみち



令和2年

第2回臨時会

【即決案件】

【議案第1号】

工事請負契約の締結

令和2年度町2施設カーボ
ン・マネジメント強化事業改良
更新工事

※1 ※2

〈契約の方法〉

※3 公募型プロポーザル方式

〈契約の相手方〉

町2施設カーボン・マネジメ

ント強化事業コンソーシアム

代表企業 (株)四電工

中讃西営業所

所長 山地 周作

〈契約金額〉

金1億7359万2100円



本庁舎 2Fの工事



工事が進むエピアみかど



※1

本庁舎1F、2Fの空調・照明

(LED) 工事

エピアみかど 空調・照明工事

※2

地球温暖化の原因と考えられる温室効果ガス排出量の抑制・削減に向けた継続的な取り組み

※3

地方公共団体が、要件を満たした民間事業者の提案書を審査し、内容及び価格の総合評価により、受託者を決定する方式

令和2年

9月定例会

【即決案件】

【議案第6号】

官民連携事業に関する個別外部監査契約に基づく監査によることについて

満濃中学校複合施設について
総括マネジメント業務、維持管理業務、図書館・体育館運営業務などが、適正に行われているかどうかの監査を引き続き個別外部監査として実施することに
した。



【議案第7号】

官民連携事業に関する個別外部監査契約の締結について

〈契約金額〉 金110万円

〈契約の相手方〉

高松市 三和会計事務所

税理士 米田 守宏 氏

〈契約期間〉

自 令和2年9月15日

至 令和3年3月31日



【諮問第1号】

人権擁護委員候補者の推薦について

○炭所西 曾我部 照代 氏(再)

○四條 安部 和江 氏(新)



【付託案件】

各常任委員会で所管する案件について執行部に必要書類の提出と詳細な説明を求め慎重に審査を行った。

総務常任委員会

【認定第1号】

令和元年度町一般会計歳入歳出決算認定について

教育民生委員会、建設経済委員会から、それぞれの所管部分を事前に各常任委員会で議論した結果、執行部の説明を了解する旨、総務委員会に報告があった。(以下は、両委員会での質疑も含む。)

●主な質疑と答弁

【委員】町職員研修 滋賀県にある全国市町村国際文化研修所の研修を活用してはどうか。

【執行部】これまで数名の職員

がその研修に参加しているが、今年度はコロナの影響で取りやめた。

【委員】公用車のリース料 今回、リース車のメンテナンスを町内業者でなく町外のディーラーにする理由は何か。

【執行部】今後、リース会社と協議したい。

※後日、町内業者に変更したとの報告があった。

【委員】かりん亭 満濃池を訪れる方に、かりん亭をもっとPRする必要がある。

【執行部】かりん亭、かりん会館を含めた施設を、満濃池保存活用計画策定委員会の中で検討していく。

【委員】交通政策費 デマンドタクシーや福祉タクシー、また路線バスや通学バス等いろいろあるが、利用者の気持ち、事業者の意見等をまとめ政策に生かしてもらいたい。

【執行部】現在、観光ニーズにも対応した見直しをする動きが国にあり、この方針が施行され



利用者を待つあいあいタクシー

る時期に合わせて地域内の公共交通に関するアンケート調査を実施する予定である。

【委員】プレミアム商品券 半分売れ残った商品券を再度販売できないか。



住民が喜んだ商品券だが…

【執行部】 使用期間が短いので再度販売する考えはない。すぐに経済が回復するとは考えにくいため、来年度予算で考えたい。

【委員】 公民館まつり 各館の開催事業費にばらつきがある。統一できないか。

【執行部】 琴南、仲南公民館は文化祭形式のため補助金額が大きい。満濃地区は、今年度から各地区同額としている。

【委員】 国際交流 コロナ禍の影響で、台湾交流事業はどうなっているか。

【執行部】 行き来ができていない状態だが、今後も調整していきたい。



【議案第5号】

新町建設計画の一部変更について

「東日本大震災に伴う合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の一部を改正する法律」の施行により、合併特例債の適

用が令和7年度まで延伸することに関連する計画を変更した。



【議案第8号】

令和2年度町一般会計補正予算(案)(第3号)

歳入、歳出それぞれ7億7296万7千円を追加し、総額を150億3274万2千円とした。

決算認定と同様に教育民生委員会、建設経済委員会の所管部分を、事前に各常任委員会で審議し執行部の説明を了解した旨、総務委員会に報告があった。

補正予算の中心は、国の新型コロナウイルス感染症対策対応地方創生臨時交付金3億7019万8千円の使途である。2回の全員協議会(7月30日、8月20日)で、議会の意見・要望を議論し施策に反映している。したがって、9月議会における質疑はなかったため、以下に補正予算の主なものを記載する。

歳入

国庫補助金において地方創生臨時交付金の外、学校保険特別対策事業補助を増額。起債では有利な合併特例債や緊急防災・減災事業債を活用し、琴南支所周辺整備事業債を620万円増額、指定避難所環境整備事業債を1億8900万円追加など。

歳出(3ページ新型コロナ第3次対策を参照)

民生費では、出産祝臨時給付金、子育て応援給付金などに1億2460万円増額。商工費では、町独自の持続化応援給付金に1億2155万円新規計上。消防費では、避難所に簡易ベツドや間仕切りを備蓄する事業に572万円増額、小学校6校の体育館に空調整備に3億4100万円を新規計上。教育費では、町独自の奨学生生活援助金に750万円増額。財政調整基金を3450万円増額、その内訳として競艇組合からのコロナ関連寄附1250万円など。



教育民生常任委員会

【認定第2号】

令和元年度町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

保険給付費、国民健康保険事業費納付金、保健事業費等の状況、被保険者数の推移について、直営診療施設内科・歯科診療所の直営運営状況、施設管理費、医業費、基金積立金、診療報酬、受診者数の推移等についての説明があった。



ことなみ診療所

● 主な質疑と答弁

【委員】 診療所 診療報酬が減収しているが、コロナ禍が影響しているのか。

【執行部】 内科・歯科とも患者が受診を控えているようである。

原案
認定

【認定第3号】

令和元年度町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

後期高齢者医療広域連合納付金、諸支出金、被保険者数の状況についての説明があった。

原案
認定

【認定第4号】

令和元年度町介護保険特別会計歳出決算認定

第8期介護保険事業計画画業務委託料、介護認定審査会費、施設介護サービス給付費、介護予防サービス給付費、介護予防・生活支援サービス事業費、要支援・要介護認定者数、介護保険

サービス利用者数等についての説明があった。

● 主な質疑と答弁

【委員】 介護保険 今後の財政的見通しをどう捉えているのか。

【執行部】 介護保険特別会計は市町村が全体の12.5%を負担している。給付費が増える中で負担率をいくらかでも減らすことができるよう町村会を通じて国に働きかけている。しかし、コロナ禍で国の財政も厳しい状況にあるため現状では厳しいと思う。介護保険の利用者数は今後、横ばい状態で推移すると思われるため会計自体はそれほど増えないと思う。しかしながら1人当たりの介護給付費は今後も増えると考えられるため、依然厳しい状況が続くと捉えている。

原案
認定

【認定第7号】

令和元年度町浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算認定

施設管理費、維持管理基数、保守点検延べ数、清掃件数等の説明があり、維持管理基数については81基を譲渡した。決算額は4139万6千円で対前年度比7.17%の減との説明があった。

原案
認定

【議案第2号】

町手数料条例の一部改正

国の法律改正により、マイナンバーを通知する通知カードが、令和2年5月25日をもって廃止となった。このことに伴い、



廃止になる通知カード

まんのう町手数料条例の第2条「通知カードの再交付1件につき500円」の文言を削除するものである。

● 主な質疑と答弁

【委員】 手数料 町は様々な手数料に係る消費税を納めているのか。

【執行部】 地方公共団体等が法令に基づいて徴収する手数料については非課税とされている。

原案
可決

【議案第9号】

令和2年度町国民健康保険特別会計補正予算(案)(第2号)

新型コロナウイルスに係る国の第二次補正予算で成立した医療従事者への慰労金交付事業における予算措置である。内科診療所は、診療所等に勤務し患者と接する医療従事者や職員として、ひとり5万円の給付を受け対象であるため、医師1名、看護師3名、事務職員1名、併

建設経済常任委員会

せて25万円を設置主体であるまんのう町が、県に申請し報償費で支給する。直営診療所施設勘定内科の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ25万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ7585万円とするものである。

●主な質疑と答弁

【委員】慰労金 介護従事者への支給範囲はどのようになっていくのか。

【執行部】地域包括支援センターのケアマネージャー、認定調査員、虐待事案に携わっている方なども対象となるようである。慰労金は5万円ではないかと思う。支給を受けるには県に個人で請求する方法と報償費で計上して町が支給する方法があるが、業務に携わったことを証明する必要がある。現在、近隣の市町で対象の範囲や請求方法等について協議を行っているところである。

【認定第5号】

令和元年度町下水道特別会計歳入歳出決算認定

●主な質疑と答弁

【委員】下水道 供用開始人口が減っているのに、使用料収入が増えている理由は。

【執行部】水道料金に連動し従量制であるため使用量が増えたことと、徴収率が上がったためと考えられる。

【委員】下水道 今後、公共下水道のエリア拡大の考えは。

【執行部】費用対効果の点から、今はエリア拡大の計画はない。

【認定第6号】

令和元年度町農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定

●主な質疑と答弁

【委員】農業集落排水 施設の

主な修繕は何か。管理はどのようにしているのか。

【執行部】施設の老朽化による修繕が主である。また、管理業務は直営では難しいため業者に委託している。

【議案第1号】

町地域木材利用促進条例の一部改正

町産材の町内での加工が減っているため、補助対象を「生産

かつ加工された木材」から「かつ加工」の文言を削除し、補助を受けやすくした。また、期限を5年間延長した。

【議案第3号】

町農業集落排水処理施設条例の一部改正

集会場等の営業の用に供さず日常生活を営んでいない建物について、今回、使用料免除を条例で明確に規定した。

【議案第4号】

町公共下水道条例の一部改正

町の公共下水道使用料の徴収業務は、令和2年4月1日より香川県広域水道企業団に委託しており、今回、条例に明記した。



町産材をふんだんに（琴南総合センター）

可決案

可決案

可決案

可決案

可決案

可決案

【発議第1号】

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の悪化に対し地方財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の悪化に対し地方財源の確保を求める意見書を、まんの町議会会議規則第14条の規定により提出します。

提出者 三好 郁雄
賛成者 川原 茂行
川西米希子



【提案理由】

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないうように、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。

2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるように、総額を確保すること。

3 令和2年度の地方税収が大幅に減少することが予想されることから、万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。

4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・

地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性等を厳格に判断すること。

5 特に、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年 9月15日

まんの町議会

教育民生常任委員会 報告

修学旅行 見聞を広め、 集団生活の道徳を 学ぶ機会

【委員】小、中学校の修学旅行を四国内で行う考えはあるのか。

【学校教育課長】中止と決定した市町もあるが、まんのう町はできるだけ子どもたちに、修学旅行での学びの経験させたい思いがある。日帰り、四国内も含めて今後検討したいと考えている。



待ちに待った修学旅行だー！（長炭小学校）

GIGAスクール構想 ICT環境整備

文科省ICT教育 アドバイザーの活用は

【委員】文科省がICT活用教育アドバイザーの活用を勧めている。まんのう町としては。

【学校教育課長】GIGAスクール構想の構築については、PFI事業で専門業者が入っている。ベネッセからICT支援員を各小、中学校に派遣している。支援員から各学校でのオンライン授業等のソフト面についてもアドバイスをいただきながら進めている。

成人式

一生に一度の晴れの日

【委員】成人式をお正月に開催してほしい、との声があるが検討はできないか。

【生涯学習課長】合併をした時は夏に実施をしていたが、冬に移行した際に成人式の前後で日にちを決定したと思う。その時、正月を含めて検討したと思うが、今一度確認し再度検討したい。

自転車のマナー

危険運転をなくそう

【委員】外国人の転入受け付け時に交通ルールの説明はしているのか。外国人転入者の自転車のマナーができていないと思う。

【総務課長】特に交通ルールについての説明はしていない。琴平警察署管内の会で、外国人従業員を雇う事業者向けに、交通ルールを周知してはどうか、という協議はあった。行政としてできることを考えたい。

コロナ禍の施設利用

連携と周知が大切

【委員】未楽来運動教室が、健康増進課と生涯学習課と公民館との間で意思の疎通や連絡ができておらず、住民が利用できなかったことは知っていたか。

【健康増進課長】行き違いがあった事は聞いている。連絡の連携ができていなかった。今後このようなことがないようにしたい。

【委員】施設を利用できるかできないかの情報はしっかりと伝えてあげて欲しい。

温泉送迎バス

感染を防ぎ 高齢者を守る対策を

【委員】温泉送迎バスにおける新型コロナウイルス感染症対策をどのように行っているのか。



感染に気をつけて温泉へGO！

【健康増進課長】シルバリーに運行委託している。消毒液を用意し手指消毒を行う。席をあけて座るように、運転手に声をかけてもらうようにしている。マスクの着用等、感染防止対策について再度シルバリーに対応をお願いし、同様の送迎バスがある仲南支所とも連携し検討する。

総務常任委員会 報告

現場視察

◆9月8日 琴南総合センター新築工事の建設現場の現地調査を行った。

琴南総合センター

新築に伴う造成費は

【委員】琴南総合センター新築に伴う造成費はどのくらいか。

【琴南支所長】造成工事の費用で、第1期工事では取り壊し等を含め約6200万円、第2期、第3期工事では約1億円である。



琴南総合センター新築工事

ことなみ振興公社

道の駅

「エピアみかど」の活性化

【委員】まんのう町にホテルがないので道の駅「エピアみかど」に町産材を使った



集客アップに新たな工夫を



ホテルを併設すれば、温泉施設の活性化につながるのではないかと考えている。【企画政策課長】今後検討していきたい。

仲南振興公社 今後、早急な検討を

【委員】3月期で債務超過に陥っていたということであれば、もう少し早い段階で報告ができなかったのか。また、今後の施設運営そのものの議論をどういう形でし、方向性を見出していくのか。

【企画政策課長】6月の所管調査の時には、十分な把握ができてなかった。コロナ禍により、資金繰りが厳しく、持続化応援給付金等も受け入れ済みだが、250



魅力ある運営を

0万円位の資金不足が発生する見込みである。早急に検討し結論を出さなければならぬと考えている。

【委員】産直市に野菜等の商品が少ない原因は何か。

【企画政策課長】生産者の高齢化により、出荷ができていない。今後は、生産者の声も丁寧を受け止めて、公社の運営も含め検討したい。

【委員】国や県に融資の申請をしたとのことだが、どうなったか。

【企画政策課長】中小企業等から、たくさんの申請があるため、回答はもらっていない。

町税

滞納整理の状況は

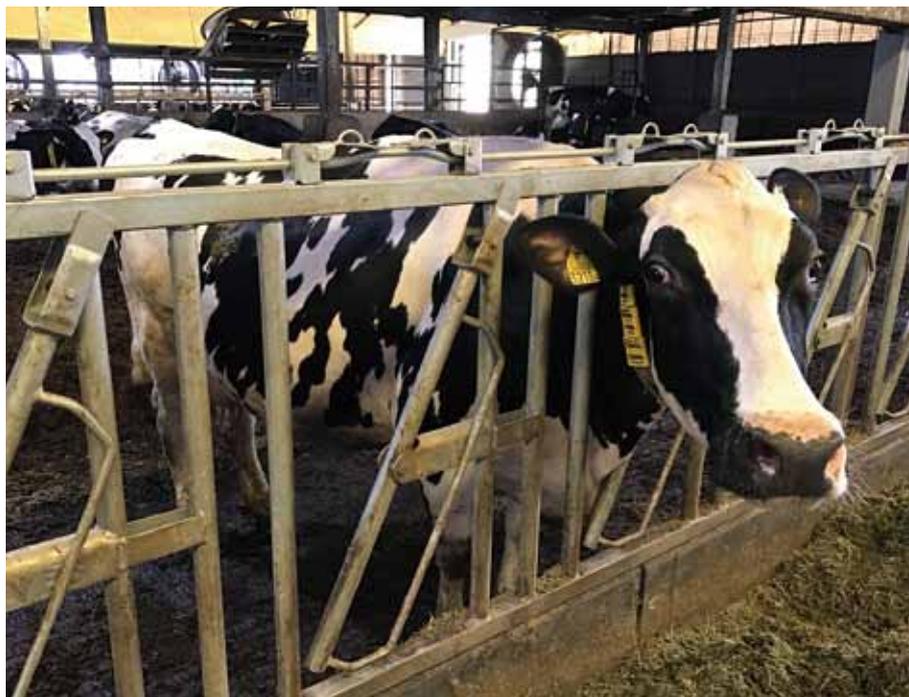
【委員】町税の滞納繰越残高がピーク時の3分の1程度まで下がってきている。今後も、引き続き頑張ってください。

【税務課長】現在、残っている滞納分は、様々な事情があり整理が難しい。今後も根気強く徴収に力を入れていきたい。

建設経済常任委員会 報告

現場視察

◆6月17日 仲南地区で大規模に酪農を営んでいる「森末牧場」とまんのう町の広大な森林を守っている「仲南町森林組合」に赴き、



皆さんモ〜ッと牛乳を飲んでよ〜

現状と課題等を伺い、議会としてどういった支援が行われるか等、現地視察調査を行いました。

有害鳥獣対策

イノシシ対策は重要だ

【委員】箱わなの補助の条件は。

【農林課長】自治会長または、まんのう町有害鳥獣捕獲許可を受けたものに対し、年間3台まで、3年間9台までが補助対象となる。購入価格の半分を補助する。

荒廃農地対策

減らせ耕作放棄地

【委員】除草作業をせず放置した耕作放棄地が増え、隣接する土地所有者が迷惑している。農業委員会としての対応・対策は。

【農林課長】苦情の連絡があれば、地元の最適化推進委員に連絡し、所有者に対し草刈等の指導を電話なり文書で行っている。

県道丸亀三好線

早期に供用開始を

【委員】マルナカく久保神社付近の丸亀三好線バイパスは一部舗装工事が完了しているが、いつ通行出来るようになるのか。

【建設土地改良課長】正式開通するには県の検査を受け許可が必要である。秋には通行出来るよう県へ要望している。

プレミアム商品券

地元商工業者、住民への支援を

【委員】プレミアム率30%の商品券発行事業は44・4%の申し込みであった。売上が伸びなかった原因は。

【地域振興課長】販売を知らなかった方、使い方がわからない方、引き換えが面倒等の意見があった。ひとつは周知不足が原因であったと考えている。

【委員】今回の商品券の周知方法等について検証を行い、今後の事業実施を再度検討してほしい。



仲南町森林組合より、現状と課題を聞く

議員が町の考えを問う

9月定例会では、9人の議員が一般質問を行いました。議員情報等は、まんのう町ホームページ（議会情報 <https://www.town.manno.lg.jp/chosei/gikai/>）に掲載していますので、ご覧ください。

議員名	質問内容	関連ページ
竹林 昌秀	<ul style="list-style-type: none"> ・本町と県境で接する市町とどのような関係を結んでいるのか ・タブレットを児童生徒に支給して、運用するギガスクール整備事業の進捗と今後の日程を問う ・総合計画では十分に分析されていない、本町の経済循環産業構造の推移を、如何に解き明かし複合施策化するのか 	P15
鈴木 崇容	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想について 	P15
松下 一美	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理体制を問う ・交通安全施設等の見直しを問う 	P16
常包 恵	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に備えて準備を ・コロナ対策で頼りになる役場を 	P16
川西米希子	<ul style="list-style-type: none"> ・重層的支援体制整備事業の導入 ・ひきこもり支援（8050問題） 	P17
京兼 愛子	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次まんのう町総合計画の進め方は 	P17
小山 直樹	<ul style="list-style-type: none"> ・感染抑制は経済再生の大前提ではないのか ・消費税は5%にもどすべきではないか ・コロナ禍で問われる日本の遅れた教育環境 	P18
白川 正樹	<ul style="list-style-type: none"> ・一般住民が、個人的にPCR検査を受けるには 	P18
川原 茂行	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興について 	P19

町議会へ行ってみよう！

一般質問は、議員の思いや考え、熱意が聞けます。

町議会は、どなたでも傍聴できます。会議日程は、ホームページ、告知放送でお知らせしています。

詳しくは議会事務局へ

☎0877-73-0109



議会の傍聴席（後方）

次回の定例会は
12月に開催予定
です。

議会情報ホームページ
QRコード



すずき たかひろ
鈴木 崇容 議員

新教育の道 確実な施策準備が

GIGAスクール構想

問 活用方法と費用対効果は

答 1つずつ、研究、実践をする

鈴木 GIGAスクール構想でタブレットを1人1台、導入した時、宝の持ち腐れにならないように有効活用と費用対効果が求められる。また、継続的ランニングコスト（費用）も大きくなるが財源をいかに確保するのか。



タブレット楽しい

教育長 タブレットを利用し、すでに進めている遠隔授業の研究、実践をいっそう深めて行く、また必要なランニングコストは、町の一般財源での予算対応になる。

鈴木 1人1台のパソコン、タブレットは上限付き補助対象だが、全国で導入が進められ、年度中の導入が困難になる可能性と、ICT化を進めるにあたって、専門的な知識が必要と思われるが、まんのう町の対応は。

教育長 導入整備は、6月議会で約2億5千万円の補正予算を承認いただき進めている。年度内の完了を目指すのが次年度に繰り越すこともある。また、学校のデジタル化への対応やICT化の指導体制を鋭意、整備している。

新交通体系と宅地

問 隣縣市町との提携を問う

答 県境を越えて

竹林 県境を越えて、協力しあっていることは何か。

道路の推進

町長 国道32号では四国びとのみらい実行委員会、国道438号では同438号規制同盟会、県道丸亀三好線では県道丸亀三好線改良推進協議会を徳島県下の市町とともに組織して、要望活動を展開している。

竹林 新猪ノ鼻トンネル開通への対策を求める。

町長 通勤や買い物やサービスの利便向上する。物流も伸張するが、交通安全対策も要る。救急や防災連携をより一層強化する。

竹林 ミニ宅地開発で、人口増加を図れぬか。

町長 民間の不動産開発に期待する。

リモート学習の展望

竹林 ギガ・スクールの進捗を問う。

基本は対面授業

教育長 タブレットの納付時期は分からぬ。校内での使用を前提にしている。あくまで、手法であり、IT教育は新教育課程に沿って、進展させる。モデル校で研究中である。



たけばやし まさひで
竹林 昌秀 議員

交通立地が 世を動かす

危機管理

問 危機管理体制を問う

答 感染症対策の周知啓発を行っていく

松下 新型コロナウイルス感染症が本町において発生した今、今後どの様に対策を取っていくのか。秋から冬にかけては、インフルエンザにも対応するべきかと思われるが、どの様に対応されるのか。9月～10月にかけては台風の発生も予想され、豪雨災害、地震、自然災害にも万全の体制で取り組むべき。7月の九州熊本を始め、中部、北陸地方で大災害が発生したが、県外からの支援は受け入れていない。今後本町としてどの様に取り組まれるのか。

町長 インフルエンザ流行期には、今年度に限りインフルエンザ予防接種や高齢者を対象に肺炎球菌ワクチンの一部助成を予定している。災害時には、町社協と協議を進め取り組んでいく。

交通安全

問 交通安全施設等の見直しを問う

答 関係機関と協議し改善に取り組む

松下 近年本町の国道438号において死亡事故が多発しており今年も2名の方が亡くなっている。ボランティアとして交通安全啓発看板の設置、あるいは交通キャンペーン等で事故防止を呼びかけている。又 国道438号の天神地区に横断歩道の設置を平成31年3月の議会においても要望しているが実現していない。交通量も多く、横断するにも危険な思いをしてる。早期の横断歩道の設置を強く要望する。

町長 横断歩道の設置については、関係各所と協議しながら交通安全施設の改善に取り組んでいく。



古くなった集会場が多い



安心・安全を願う
歩行者の



まつした かずみ
松下 一美 議員

多くの場面を
想定した
訓練・準備を



つねかね めぐみ
常包 恵 議員

想定外の災害

問 ライフライン復旧に
関係団体の協力を

答 他市町参考に拡大・強化する

常包 大災害が起きれば命を守る行動が第一で、次にライフラインの復旧が求められる。多くの関係団体と応援協定を結び災害に備えるべきだ。避難場所は集会場、近隣の寺社も有効として位置づけ、集会場修繕補助率引き上げを。昼間・夜間、平日・休日、発生直後・発生3日後など多くの場面を想定した訓練を。

町長 他市町を参考に応援協定を拡大していく。物資の輸送、供給業者との協定締結も進める。集会場修繕補助率は、見直しを含め検討する。新型コロナで訓練が難しくなっているが、避難所設営・運営、自治会役員等との合同訓練を実施したい。

新型コロナで頼れる役場

問 焦点を当てた支援が必要だ

答 GoTo事業とプレミアム商品券で

常包 飲食店、タクシー、理美容、保育など感染危険や営業打撃を受けている事業に支援を。コロナ収束が見通せない中で、部活動、塾など学校費用が増える中学校の給食無償化を求める。

町長 GoTo事業と商品券を併せて使用いただくことで事業者を支援したい。1食290円、年間55,000円の給食費負担を無償化すると、保護者負担の1割強の軽減となる。しかし、毎年約2,400万円必要になるので、負担軽減策として何が有効か検討していく。



きよかね あいこ
京兼 愛子 議員

地域の力を
つなげよう

総合計画

問 コロナ禍での進め方は

答 見直しを図り、対応したい

京兼 総合計画は、地域との絆や人とのかかわりを大切にしながら進めようとするまちづくりの基本理念でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、人とのつながりが希薄になっている。どのように打開し、進めようと考えているか。

町長 今回の新型コロナウイルスの感染拡大を受け、地域活動や自治会活動にも変化が生じており、地域のイベントや行事を開催できずに取りやめるところが出ている。また、高齢者が身近な場所に集まり、講座やコミュニケーションを図る公民館などの施設の利用も一時中止となった。まずは、住民の皆様にも、密閉・密集・密接の3密の回避、新しい様式の定着の啓発を行いたい。少しでも、早く以前のような活気ある日常を取り戻せるよう施策の実施に取り組み、コロナウイルスの影響をしっかりと見極め、地域活動の回復にもつなげるよう、見直しを図り、今年度からスタートする第2次まんのう町総合計画を各課連携の下に対応していきたい。



未来への計画

福祉の大転換（重層的支援体制整備事業）

問 福祉制度の壁をなくし
より充実した支援を

答 実践がしやすい方向を求めてから
参加したい

川西 令和3年度から国が開始するこの事業は、実施する市区町村に国が交付金を支給する任意事業である。制度の縦割りをなくし福祉の充実、地域共生社会の実現を目的としている。本町の導入への考えは。

町長 必要なのは、被支援者が利用しやすい支援体制を構築することである。令和3年度から令和5年度で実施が可能。事業効果が発揮でき、実践がしやすい方向性を求めてから事業参加したい。

ひきこもり支援

問 相談窓口の明確化と伴走型支援を

答 広報活動と伴走型支援に取り組みたい

川西 本町では、「ひきこもり」の担当課や相談窓口が分かりづらい。「ひきこもり」で悩んでいる方が確実に支援に繋がるよう担当課を明確にして、相談窓口や専門機関の周知・広報を行うなど支援の充実を。

町長 「ひきこもり」の支援や相談窓口は健康増進課が担っている。相談窓口の明確化と住民への周知広報をしっかりと行っていきたい。専門性を持った方が伴走型支援を行うことも肝要と考えており今後は、その視点に立った広報活動も実施したい。



かわにし まきこ
川西 希子 議員

「ひきこもり」の
相談窓口を
はつきりと

PCR検査の
相談は誰に



しろかわ まさき
白川 正樹 議員

新型コロナウイルス

問 個人的に受ける
PCR検査は無料か

答 条件が整えば無料

白川 個人的に受けるPCR検査は無料か。

町長 息苦しさ、強いだるさ、発熱等がある場合、高齢者・糖尿病・心不全・呼吸器疾患等の基礎疾病がある方、透析を受けている方、妊婦の方の発熱や咳などの症状が長く続く場合は「香川県新型コロナ健康相談コールセンター」へ連絡をする。感染が疑われると判断された場合、帰国者・接触者外来が紹介され、受診をし、医師の判断に基づいて検査を受ける。費用については診療費などを除く検査費用は無料である。

風邪か新型コロナウイルス感染症かわからない場合は、コールセンターに受診の相談を、それ以外の発熱がある場合は、かかりつけの医療機関に、電話で相談の上受診する。

かかりつけ医がない、あるいは対応できない場合は、「香川県新型コロナウイルス健康相談コールセンター」が相談に応じ、診療・検査の対応が可能な最寄りの医療機関を紹介する。

教育長 学校では現在、文部科学省のマニュアルに従い、登校時に教師が検温を行っている。その結果、37度を超えている場合は出席させない。

発熱のある児童生徒に対しては、まず病院で受診することが重要であることを学校でも徹底させたい。

PCR検査の拡充

問 感染危険の多い消防・医療・介護・福祉関係者は早急の検査を

答 国・県の指導に沿って進める

小山 新型コロナウイルス感染症は無症状感染者が多い。感染リスクの高い関係者に早急にPCR検査を行うべきだ。安心・安全こそ求められる。

町長 「高齢者介護施設における感染対策マニュアル改訂版」、「新型コロナウイルス感染症防止についての相談、受診の目安」、総務省からの「職場等における新型コロナウイルス感染防止について」などに基づいた対策を講じている。

消費税を5%に

問 最も効果的対策は消費税減税

答 国や県の支援策、町独自の支援策を用意した有効に活用して戴きたい

小山 20近い諸外国はコロナ対策として、消費税(=付加価値税)減税を実施した。日本も実施すべきだ。国・県・町の支援策をもっと町民に周知徹底すべきだ。

町長 「経済が混乱する」など様々な声があることを耳にしている。今後の経済対策は、政府の動向を注視していく。

学校のコロナ対策

問 校内の消毒作業を先生が担っている負担が集中しているのでは

答 今後も教職員にお願いせざるを得ない

小山 日本の公的教育予算は、OECD平均に遠く及ばない。国内基準ではまんのう町は少人数学級が実現しているが、世界基準では平均的規模だ。「3密」対策で、教職員に負担が集中してないか。

教育長 国の公的な教育予算は世界に比べて低い。全国の教育委員会連合会、県教委を通して要望していきたい。

最大の景気対策
消費税の減税こそ



こやま なおき
小山 直樹 議員



かわはら しげゆき
川原 茂行 議員

新しい 農業の考え方

農林業振興

問 ほ場整備に新しい考えを

答 改革には、十分精査する

川原 高齢化と人手不足、また、ここ数年来の猛暑の中、中山間地域では畦畔（あぜ）管理の困難さが

増している。農業の課題は、科学の力では解決できない。洪水防止を含む農業の多面的機能を正しく評価し、受委託の体制づくりなど畦畔管理に焦点を当てた施策が必要だ。

中山間地域の畦畔は急傾斜が多く、農作業事故のリスクも高い。非効率で労力、時間、コストがかかる深刻な問題である。

農地は、食料生産の他、国土の保全、水源、環境保全、良好な景観の形成、文化の継承など多面的機能を持っている。

災害が多い今こそ、踏み込んだ施策を求めたい。

町長 現在の農政を考えるうえでは、農業従事者の高齢化や農業人口の減少が喫緊の課題となっており、そのため、国・県からは、これらに対応するため「営農効率化や労務省力化」を促す施策が次々と打ち出されている。したがって、本町としても国・県と足並みを揃える形で、畦畔管理をはじめとした農地や土地改良施設などの維持管理の省力化に向けた取り組みを積極的に推進していきたい。

新型コロナウイルス対策

感染症対策への

ご協力をおねがいします

新型コロナウイルスを含む
「手洗い」や「マスクの着用を
含む咳エチケット」です。
感染症対策の基本は、
新型コロナウイルスを含む

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやるう



あとがき

編集副委員長 常包 恵

今年もあと1か月、想定外のコロナ災害で、楽しみにしていた行事の多くが中止や延期になりました。残念ながら、今年度の議会報告会も中止させていただきました。また、子どもたちにとって一生の思い出となる修学旅行も、行先・内容が変更になりました。

議会閉会が10月になったことから、1か月遅れで議会だより第37号をお届けします。

皆さんと議会をつなぐ「議会だより」となるよう努力します。



議会広報特別委員会

委員長 鈴木 崇容
副委員長 常包 恵
委員 白川 皆男
委員 田岡 秀俊
委員 京兼 愛子
委員 小山 直樹



議会からこんにちは No.28



今回から、4回連載で町内の公民館を紹介します。



毎日利用者でいっぱい

平成8年から四条公民館にお勤めの香川史子館長にお聞きしました。

**26の同好会が利用
子どもから元気が**

「公民館の場所がいいので、子どもから大人まで大勢が利用してくれる。利用していた子どもが自分の子と一緒に来てくれて、声を掛けてくれた時は、とても

うれしかった」とのこと。現在26同好会があり、七宝焼やオカリナ教室など他にないものも。玄関の予定表は、同好会の名前のラベルでいっぱいでした。

**明るく元気に前向きに
通学合宿を続けたい**

地域のご協力で行っている6泊7日の小学生の通学合宿を10年後も継続したい、と常に、明るく元気に前向きな四条公民館でした。



♡七宝焼に夢中♡

※休館日／毎週日曜・祝日



絵手紙勢揃い

16の同好会が活動

神野公民館では、絵手紙教室、大正琴、カラオケ、などの同好会があります。また、讃岐まんのう太鼓の活動拠点でもあります。館内ではマスク着用、アルコール消毒、ソーシャルディスタンス等感染防止対策を行っており、来館者の健康第一にそれぞれの活動を楽しんでいます。

**協力
勝手連ファーマーズの**

神野の目玉は満濃南小5年生による「緑米(古代米)づくり」です。勝手連のみなさんの協力により、約20年間続いています。例年は丹精込めて作ったもち米で餅つきを行い、秋の公民館まつりで来場者に振る舞われます。

館長の石川裕子さん、補助員の仁木正樹さんは、「これからも地域のみなさんの拠り所としてもっともつとにぎわいのある公民館運営に努めていきたい」と話されていました。



手で稲刈りは大変～

※休館日／毎週日曜・祝日